

環境経営レポート (エコアクション21)



真和興業 株式会社

令和4年9月17日発行

令和5年5月23日改訂

(対象期間：令和3年7月 ～ 令和4年6月)

目 次

1. 組織の概要	・ ・ ・	2
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	・ ・ ・	2
3. 環境経営方針	・ ・ ・	3
4. 環境経営目標	・ ・ ・	4
5. 環境経営計画	・ ・ ・	5
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	・ ・ ・	7
7. 実施体制	・ ・ ・	8
8. 環境経営目標の実績	・ ・ ・	9
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	・ ・ ・	10
10. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	・ ・ ・	13
11. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果， 並びに違反，訴訟などの有無	・ ・ ・	15
12. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・ ・ ・	15

1. 組織の概要

1) 事業者名及び代表者氏名

真和興業 株式会社

代表取締役 真野 祥典

2) 所在地

本社・江南工場 : 愛知県江南市安良町池尻80番地

TEL : 0587-50-5505 FAX : 0587-50-5506

小牧工場 : 愛知県小牧市大字三ツ淵字南藩洲1248-1

TEL : 0568-65-7306 FAX : 0568-65-7318

一宮倉庫（無人） : 愛知県一宮市北小淵1458番地

3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 : 小野 明

TEL : 0587-50-5505 FAX : 0587-50-5506

[E-mail : ono@shinwa-made.co.jp](mailto:ono@shinwa-made.co.jp)

4) 事業活動の内容

溶融亜鉛めっき、めっき後加工、鉄鋼製品設計・製作、再生めっき事業

5) 事業の規模

法人設立年月日 : 昭和37年 7月 1日

資本金 : 2,000万円

主要製品出荷額 : 101,235万円（令和3年度）

従業員数 : 56名（令和4年8月現在）

敷地面積

本社・江南工場 : 5,655.00m²（床面積：2,881.01m²）

小牧工場 : 1,891.00m²（床面積：1,341.00m²）

一宮倉庫 : 4,688.00m²（床面積：1,194.66m²）

2. 対象範囲（認証・登録範囲），レポートの対象期間及び発行日

1) 対象範囲（認証・登録範囲）

組織 : 本社・江南工場、小牧工場、一宮倉庫

活動 : 事業活動の内容の通り

2) レポートの対象期間及び発行日

レポート対象期間 : 令和3年7月 ~ 令和4年6月

レポート発行日 : 令和4年9月17日

3. 環境経営方針

環境経営方針

環境経営理念

眞和興業株式会社は溶融亜鉛鍍金の生産活動を通じて、SDGs 目標11【住み続けられるまちづくりを】を促進すると共に環境に優しい企業として社会に貢献する。

環境汚染の予防と環境保全の継続的改善により、地球温暖化の防止と資源循環型社会の形成を産・学・官・地域と連携しながら推進する。

基本経営方針

令和元年に新設し稼働した江南工場では、旧工場（現：一宮倉庫）と比較して環境配慮目的とした設備等を導入しており、従来からエコアクション21で重要課題としていた

①CO2排出量の削減 ②産業廃棄物の削減を厳守

の上位互換と考えられる「SDGs」に沿って令和元年に改訂された会社方針に従い、環境経営方針も改訂を行う。

1. 環境関連の法規及び当社が同意するその他の合意事項を順守する。

SDGs 目標16【平和と公正をすべての人に】

2. 省エネルギー、エネルギーの再利用、燃転、電動化等を推進する事でCO₂ 排出量を削減する。

SDGs 目標7【エネルギーをみんなに そしてクリーンに】

3. 廃棄物の削減・資源化を推進する。

SDGs 目標9【産業と技術革新の基盤を作ろう】

4. 廃塩酸の資源化技術や再生めっきを活用した環境配慮製品を提供する。

SDGs 目標9【産業と技術革新の基盤を作ろう】

5. 放流水の再利用により水使用量を削減する。

SDGs 目標15【陸の豊かさも守ろう】

6. 有害化学物質の使用量を削減する。

SDGs 目標12【つくる責任 つかう責任】

7. 環境経営方針を定め、環境経営の継続的改善に努めます。

SDGs 目標8【働きがいも経済成長も】

令和 4年 5月 10日 改定

平成 24年 11月 1日 制定

眞和興業 株式会社

代表取締役 眞野 祥典

4. 環境経営目標

令和元年度の環境負荷の実績を年度基準として、目標を設定しました。

作成日：令和元年9月25日 作成者：小野 明

見直日：令和4年5月10日 作成者：小野 明

項目 \ 年度目標	令和元年度実績 基準年度	令和2年度目標 基準年度比1%減	令和3年度目標 基準年度比2%減	令和4年度目標 基準年度比3%減
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	1,030,544	1,020,239	1,009,933	999,628
産業廃棄物排出量 (t)	250	248	245	243
一般廃棄物排出量 (t)	3.13	3.10	3.07	3.04
水使用量 (m ³)	20,279	12,481 ※1	12,231 基準年度比2%減	12,107 基準年度比3%減
環境配慮製品出荷量 (t)	372	391 (基準年度比5%増)	409 (基準年度比10%増)	428 (基準年度比15%増)
有害化学物質の削減 (t)	1.36	1.35	1.33	1.32
亜鉛購入費用 (万円)	22,201.5	21,979.5	21,757.5	21,535.5
総エネルギー費用 (万円)	5,857.5	5,798.9	5,740.4	5,681.8
産業廃棄物費用 (万円)	621.6	615.4	609.2	603.0
水費用 (万円)	17.7	8.2 ※1	8.0 基準年度比2%減	8.0 基準年度比3%減
社外流出不良件数 (件/月)	1.3	1.3 (基準年度比と同じ)	1.0 (基準年度比-0.3件)	1.0 (基準年度比-0.3件)

- 1) 二酸化炭素排出量は、電気使用量，都市ガス使用量，LPG使用量，ガソリン使用量，軽油使用量 から算出される二酸化炭素排出量の合計としました。
排出係数は、中部電力ミライズ(株)殿の令和元年度の調整後排出係数：0.426 (kg-CO₂/kWh) としました
- 2) 産業廃棄物排出量は、前処理工程から排出される廃塩酸（特別管理産業廃棄物）と、水処理から排出される汚泥（産業廃棄物）等の削減を目標に設定しました。
- 3) 一般廃棄物は、排出量削減を目標としました
- 4) 水使用量は井戸水と水道水で、水処理をした後、河川及び下水道に排出されます。
- 5) 環境配慮製品の出荷量については、太陽光発電設備の太陽光パネルの架台等や自社にてリサイクル（再めっき）した製品の、令和元年度の出荷量を基準として、目標を設定しました。
- 6) 有害化学物質の削減は、補修スプレーの使用本数と有害化学物質である キシレン、エチルベンゼン、トルエンの含有量から使用量を算出し、令和元年度の使用量を基準として、目標を設定しました。

※1 水使用量及び水費用において、基準年度は漏水による使用量の増加がありました。その為、基準年度を令和2年度の実績に変更しました。

5. 環境経営計画

取組期間：令和3年度（令和3年7月 ～ 令和4年6月）

1) 二酸化炭素排出量の削減の取り組み

取組事項	取組部署	取 組 内 容
電気使用量	全社 (真野社長)	A) 不要照明の消灯の徹底、節電ステッカー貼付 B) 空調温度集中管理設定 冷房：28℃・暖房：22℃ C) パソコン等OA機器の不使用时の電源OFF D) 小牧工場内照明無電極ランプ設置 E) 江南工場内照明無電極ランプ設置 F) 事務所及び会議室等の照明LED設置 G) 人感センサーによる照明管理 H) 常夜灯タイマー制御による省エネ I) フォークリフトの最適運転（電気仕様）
軽油使用量	全社 (真野社長)	A) フォークリフトのアイドリングストップの励行 B) フォークリフトの急発進、吹かしすぎの中止 C) 車両点検・整備の励行 D) 運搬トラックの最適運行ルートでの励行 E) フォークリフトのLPG仕様・電気仕様への切り替え
ガソリン使用量	営業 (田保部長)	A) アイドリングストップの励行 B) エコドライブの徹底、低速走行の励行、急発進の中止 C) エアコン設定温度 冷房：28℃・暖房：22℃ D) 車両点検・整備の励行
LPG使用量	全社 (真野社長)	A) フォークリフトの最適運転（LPG仕様） B) フォークリフトの電気仕様への切り替え
都市ガス使用量	江南工場 (西組課長)	A) 亜鉛浴槽自動制御の浴槽温度安定化による省エネ B) 稼働時間外の低温保温による省エネ C) フラックス槽の排熱利用による省エネ

2) 廃棄物排出量の削減

取組事項	取組部署	取 組 内 容
産業廃棄物	江南工場 (小野、西脇)	A) 集塵灰の再資源化 B) 廃塩酸の削減 C) 水処理汚泥の削減 D) 鉄くずの再資源化 E) 木くずの削減 G) 剥離槽導入により、廃酸の塩化第一鉄と剥離槽の塩化亜鉛を薬品原料として再生利用（廃酸の約半分を資源化） H) 新塩酸及び廃酸ローリーの往復化により製品のライフサイクルにおける省エネ
一般廃棄物	全社 (小野)	A) 分別による不燃ごみの削減 B) ゴミとなる包装材を極力受取らない（壊れたパレット等） C) 物を大事に使い、ゴミとまらない様に長く使う

3) 水使用量

取組事項	取組部署	取組内容
水道水 井戸水	全社 (小野)	A) 節水ステッカーの貼付 B) 節水呼びかけ C) こまめな止水 D) 漏水管理 (排水量のチェック)
	江南工場 (小野)	E) 処理済み排水の再利用

4) 環境配慮製品の製造、出荷

取組事項	取組部署	取組内容
リサイクル製品の加工、出荷	全社 (眞野社長)	A) 古くなった製品を引き取り、自社で再めっきする。 B) 製品を解体・補修し、再めっき後組み付けして出荷する
環境配慮製品の製造、又はめっき加工 (太陽光発電架台等)	全社 (眞野社長)	A) 太陽光発電用架台等を製造している客先より依頼を受け、めっき加工をする。 B) 小牧工場で太陽光発電架台を作成し、めっき加工後、出荷する。

5) 有害化学物質の削減の取り組み

取組事項	取組部署	取組内容
有害化学物質の削減	全社 (西組)	A) スプレー使用量の調査 B) スプレー等を最後まで使い切ってから捨てる C) 必要以上に塗布しない D) 環境対応型スプレーへの切替

6) 社外流出不良の低減の取り組み

取組事項	取組部署	取組内容
社外流出不良の低減	全社 (小野)	A) 擦り過ぎて、地金が出ないようにする B) スプレー塗布を確実に C) 類似品は、客先注文書の寸法を確認する D) 客先注文書の数量を確認する E) 品質管理課や積込担当者による、出荷前製品の外観確認

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

2021年度 環境経営計画/実績評価・結果

環境管理責任者	作成日
小野 明	2022/9/17

環境目標 (基準年度/令和元年度)	取組事項/目標実績	部署	担当者	月度スケジュール/実績・評価												年度計	
				R3年						R4年							
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
電気使用量の削減 基準年比:-2%	教育	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	不要照明の消灯	全社	酒井	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	昼休み時間の消灯の徹底	全社	田中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	蛍光灯の閉り	全社	真野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	不要換気扇の電源OFF	全社	酒井	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	エアコン温度管理の徹底	全社	田中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	OA機器等の不使用時電源OFF	全社	田中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	設備停止時の電源OFF	全社	西組課長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	設備稼働管理の徹底	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	小牧工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	無電極ランプ導入	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	工場照明LED化	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	電気使用量 (kWh)			目標値	74,746	77,028	78,850	77,214	84,389	85,940	72,657	80,160	70,640	65,590	58,215	63,048	888,478
				実績値	66,660	72,983	81,723	73,680	73,524	76,253	65,739	74,106	66,121	69,310	57,033	65,997	843,129
			評価	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×		
二酸化炭素排出量の削減	教育	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	車両の定期点検の励行	全社	富田課長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	運行経路の適正化	全社	田保部長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	エコドライブの励行	全社	田保部長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	アイドリングストップの実施	全社	田保部長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	空調温度の適正化	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	エコカーの導入	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	フォークリフト (LPG車) の導入	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	フォークリフト (電動車) の導入	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	亜鉛釜の温度管理の徹底	江南工場		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	バーナーの点検清掃の励行	江南工場		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	ダクトの点検・清掃	江南工場	西組課長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	浸漬管の点検・清掃	江南工場		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	都市ガス使用量の把握	江南工場		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
都市ガス使用量 (m ³)			目標値	23,075	18,995	19,388	23,063	22,652	22,950	22,031	21,564	24,730	21,920	21,524	18,464	260,357	
			実績値	19,585	21,683	20,210	20,716	23,523	23,148	21,207	20,674	22,532	20,944	20,737	20,946	255,905	
			評価	◎	×	×	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×		
液化石油ガス使用量 (kg) (LPGガス)			目標値	720.3	588.0	726.7	771.1	800.2	802.1	815.4	856.0	829.6	737.5	582.1	602.7	883.6	
			実績値	806.5	838.5	987.0	774.5	990.0	960.0	998.5	900.0	945.0	735.0	641.0	752.5	10,328.5	
ガソリン使用量 (ℓ)			目標値	223.2	109.2	250.8	227.9	94.5	247.0	314.1	47.9	220.2	150.4	159.8	220.6	2,265.7	
			実績値	344.1	437.1	360.7	239.0	426.4	301.0	305.0	216.3	168.9	327.8	257.7	293.5	3,677.5	
			評価	×	×	×	×	×	×	◎	×	◎	×	×	×		
軽油使用量 (ℓ)			目標値	1,341.0	1,103.2	1,385.5	1,232.7	1,150.4	1,140.8	1,196.7	446.9	1,721.0	1,523.2	1,264.9	959.4	14,465.7	
			実績値	726.9	891.9	861.3	838.6	917.0	862.9	835.3	943.0	1,067.8	564.4	485.6	1,034.6	10,029.2	
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×		
廃棄物排出量の削減	教育	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	分別ボックス設置・ラベル貼付	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	廃棄物の分別の徹底	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	用紙の両面使用及び縮小印刷	全社	酒井	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	無駄の削減、資源化率の向上	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	集塵灰の再資源化	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	鉄くずの再資源化	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	フカシ槽による再資源化	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	重金属総量の低減	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	廃塩酸の削減	江南工場	中野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	水処理汚泥の削減	江南工場	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	一般廃棄物量 (t)			目標値	0.00	0.00	0.14	0.33	0.33	0.57	0.30	0.37	0.31	0.27	0.07	0.38	3.07
				実績値	0.25	0.31	0.43	0.28	0.34	0.36	0.21	0.26	0.30	0.28	0.27	0.29	3.59
				評価	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	
産業廃棄物量 (t)			目標値	4.91	4.91	4.20	5.75	5.95	0.00	6.28	6.37	6.37	6.43	6.06	6.29	63.53	
			実績値	6.10	5.63	6.57	5.94	19.02	37.47	17.14	12.68	19.05	12.38	25.23	22.93	190.15	
			評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
産業廃棄物量 (t) 【特別管理】			目標値	0.00	12.14	36.51	21.89	21.64	12.08	12.20	7.23	22.74	12.45	12.01	10.80	181.69	
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
水使用量の削減	手順作成・教育	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	節水ラベル貼付	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	手洗節水の徹底	全社	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	散水節水の徹底	江南工場	真野社長	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	漏水管理	江南工場	小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	放流水の再利用	江南工場	西脇	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	水使用量【上水】 (m ³)			目標値	0.0	54.5	0.0	61.4	0.0	75.2	0.0	67.3	0.0	70.3	0.0	76.2	404.9
			実績値	0.0	90.0	0.0	127.0	0.0	73.0	0.0	74.0	0.0	78.0	0.0	50.0	492.0	
			評価	◎	×	◎	×	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	◎		
水使用量【地下水】 (m ³)			目標値	1,437.2	1,036.3	1,045.7	957.8	813.6	1,046.7	677.7	868.0	1,195.6	999.5	873.1	999.7	11,951.0	
			実績値	1,036.7	1,116.7	1,202.5	1,257.1	1,388.7	976.8	750.5	689.1	684.7	739.3	956.1	947.6	11,745.8	
			評価	◎	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	×	◎		
環境配慮製品 基準年比:+10%	環境配慮製品の出荷量	本社・江南工場	真野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	太陽光設備の提供	小牧工場	真野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	太陽光設備用の製品の出荷量	本社・江南工場	真野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	出荷量 (t)			目標値	17.9	13.3	46.4	13.2	42.9	49.5	45.2	46.4	44.6	18.5	34.9	36.5	409.3
			実績値	23.7	19.6	40.2	22.5	23.5	20.0	17.8	24.2	26.1	24.9	23.7	29.2	295.3	
			評価	◎	◎	×	◎	×	×	×	×	◎	×	×	×		
有害化学物質 の削減	キシレン、トルエンを含むめっき治具改善	江南工場	真野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	めっき作業改善	本社・江南工場	西組	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	仕上げ作業	本社・江南工場	田島	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	治具への取付方法の見直し	本社・江南工場	佐々木	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	製品の吊下姿勢の見直し	本社・江南工場	佐々木	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	亜鉛槽投入・引上方法の改善	本社・江南工場	西組	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	環境対応型スプレーへの切替	本社・江南工場	真野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
化学物質を含む補修用スプレーの使用本数 (本)			目標値	470	1,294	1,058	1,294	941	706	823	941	1,129	1,223	470	1,176	11,525	
			実績値	1,440	1,512	1,200	3,120	11	240	480	0	720	480	240	720	10,163	
			評価	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
社外流出不良の低減 1.0件/月			目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	12	
			実績値	1	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	0	10	
			評価	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	
環境管理責任者確認			小野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

7. 実施体制

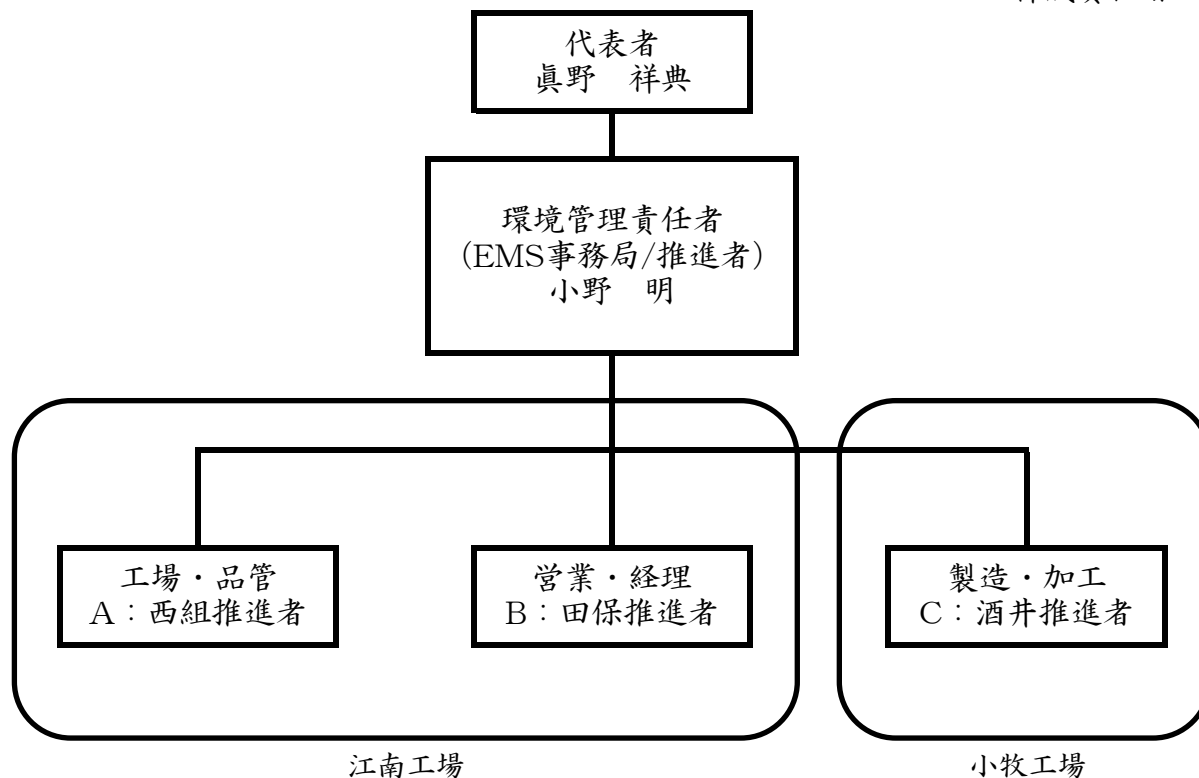
EA21実施体制図

作成：令和元年10月1日

改訂：令和3年4月1日

承認者 真野 祥典

作成責任者 小野 明



役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	代表取締役 真野 祥典	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針作成、環境管理責任者任命 資源用意、システム見直し 実施体制の構築 全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	小野 明	<ul style="list-style-type: none"> EMS総責任者、EMS構築・運用、維持 環境経営レポート作成 システムの適合性、運用状況監査
事務局	小野 明	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画立案、文書作成・管理 環境教育計画・実施、EMS事務管理
全従業員	A：西組推進者 B：田保推進者 C：酒井推進者	<ul style="list-style-type: none"> EMS運用実施 EMS運用実施状況確認及び記録

8. 環境経営目標の実績

今期実施期間の環境目標の達成状況を評価しました。

環境への取り組み実施期間は、令和3年7月から令和4年6月までで、令和2年度の1年間の集計結果と令和元年度の基準値とを比較し、

- 1) 各使用量については、2%削減の目標を達成できたものは ○ を、未達成には × を
- 2) 環境配慮製品については、10%の目標を達成時は ○ を、未達成時には × を
- 3) 各費用については、基準値より低減できているものには ○ を、増加している場合は示しています。

令和元年度売上： 90,989万円 令和3年度売上： 101,235万円 (11.3 %)

比較		令和元年度基準値 (R01/7~R02/6)	令和3年度結果 (R03/7~R04/6)	増減 (%)	達成度 評価
二酸化炭素排出量 ※1 (kg-CO ₂)		1,030,544	977,320	- 5.2	○
総 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量 (kWh)	906,610	843,129	- 7.0	○
	都市ガス (m ³)	265,670	255,905	- 3.7	○
	LPGガス使用量 (kg)	9,012	10,329	+ 14.6	×
	ガソリン使用量 (L)	2,312	3,677	+ 59.0	×
	軽油使用量 (L)	14,761	10,029	- 32.1	○
産業廃棄物排出量 (t)		250	190	- 24.0	○
一般廃棄物排出量 (t)		3.13	3.59	+ 14.7	×
水使用量 ※2 (m ³)		12,481	12,238	- 1.9	×
環境配慮製品 (t)		372	295	- 20.7	×
有害化学物質使用量 (t)		1.36	1.73	+ 27.2	×
亜鉛購入費用 (万円)		22,201.5	22,340.3	+ 0.6	×
総エネルギー費用 (万円)		5,857.5	4,396.8	- 24.9	○
産業廃棄物費用 (万円)		621.6	299.7	- 51.8	○
水費用 ※2 (万円)		8.2	10.2	+ 24.4	×
社外流出不良件数 (件/月)		1.3	0.8	- 0.5	○

※1 二酸化炭素排出量における排出係数は、
・中部電力ミライズ(株)殿の令和元年度の調整後排出係数：0.426 (kg-CO₂/kWh)
としています。

※2 水使用量及び水費用については、令和2年度を基準値としています。

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

1) 二酸化炭素排出量

項目	内容
結果	<p>二酸化炭素排出量は、総エネルギー使用量のCO₂の重量換算で、5.2%減少となり、目標を達成する事が出来ました。</p> <p>総エネルギー費用についても、24.9%低減する事が出来ました。</p>
評価	<p>①電気使用量 電気使用量につきましては、7.0%の減少となりました。 不要照明及び昼休み時間の消灯を実施しました。 空調温度集中管理（冷房：28℃，暖房：22℃）を徹底しています。 その他、人感センサーによる照明の管理及び常夜灯をタイマー制御により管理を行っています。</p> <p>②都市ガス使用量 都市ガス使用量につきましては、3.7%の減少となりました。 垂鉛浴槽を自動制御により垂鉛浴槽の温度の安定化を図ると共に、休日及び夜間の稼働時間外を低温保温する事により、使用量の低減に努めています。</p> <p>③LPGガス使用量 LPGガス使用量につきましては、14.6%の増加となりました。 電気仕様のフォークリフトを導入しましたが、LPGガスの使用量が増加してしまいました。急発進や急ブレーキをせずに、適切な運転を心がけます。</p> <p>④ガソリン使用量 ガソリン使用量につきましては、59.0%の増加となりました。 新規顧客訪問をしたり、既存顧客には今後の受注情報を収集する為に、頻繁に訪問を行いましたので、ガソリンの使用量が増加しました。</p> <p>⑤軽油使用量 軽油使用量につきましては、32.1%の減少となりました。 軽油仕様のフォークリフトを廃止して、電気仕様のフォークリフトに切替をしましたので、軽油使用量を低減する事が出来ました。</p>

2) 廃棄物排出量

項目	内容
結果	<p>産業廃棄物排出量につきましては、24.0%の減少となりました。</p> <p>一般廃棄物排出量につきましては、14.7%の増加となりました。</p> <p>費用面についても、51.8%の減少となり、目標を達成出来ました。</p>
評価	<p>産業廃棄物産については、産業廃棄物（特別管理）である廃塩酸を水処理に利用する事により、排出量を低減する事が出来ました。</p> <p>但し、産業廃棄物（特別管理）である廃酸を水処理に利用した為、産業廃棄物である汚泥の量は増加となりました。</p> <p>一般廃棄物については、受注が増加した為、お客様より持ち込まれる可燃ごみの量も増加しました。</p> <p>費用については、産業廃棄物（特別管理）の廃酸の排出がなくなった為、低減する事が出来ました。</p>

3) 水使用量

項目	内容
結果	<p>水使用量につきましては、1.9%の低減となりました。</p> <p>費用面でみますと、24.4%の増加となりました。</p>
評価	<p>水使用量は、地下水の使用量は低減できましたが、上水の使用量が増加しました。その為、費用についても増加してしまいました。</p> <p>節水や漏水確認を行い、節水に努めます。</p>

4) 環境配慮製品

項目	内容
結果	<p>環境配慮製品については、20.7%の減少となりました。</p>
評価	<p>コロナ禍で受注が減りました。新たに受注できる様、新規顧客や既存顧客を新規顧客開拓や既存顧客訪問をし、営業活動を行います。</p>

6) 有害化学物質の削減

項目	内容
結果	有害化学物質を含むスプレーの使用量につきましては、27.2%の増加となりました。
評価	環境配慮型のスプレーの生産が終了してしまいました。その為、有害化学物質の使用が増加してしまいました。新たな環境配慮型スプレーを検討します。

7) 亜鉛購入量の削減

項目	内容
結果	亜鉛購入費用につきましては、0.6%の増加となりました。
評価	購入量は低減していますが、価格高騰による単価が上がった為、費用が増加しました。今後は使用量を低減できる様、努めます。

8) 客先流出不良の低減

項目	内容
結果	客先流出不良については、目標値である、1.0件/月以内に対し、0.8件/月 であり、目標を達成しました。
評価	誤送や欠品等、出荷前に確認していれば防げていた不具合がありました。

10. 次年度の環境経営目標

作成日：令和4年9月17日 作成者：小野 明

令和元年度の環境負荷の実績を年度基準として、目標を設定しました。

年度目標 項目	令和元年度実績 基準年度	令和2年度実績 基準年度比1%減	令和3年度実績 基準年度比2%減	令和4年度目標 基準年度比3%減
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	1,030,544	928,768	977,320	999,628
産業廃棄物排出量 (t)	250	179	190	243
一般廃棄物排出量 (t)	3.13	3.46	3.59	3.04
水使用量 (m ³)	20,279	12,481 ※1	12,238	12,107
環境配慮製品出荷量 (t)	372	193	295	428 (基準年度比15%増)
有害化学物質の削減 (t)	1.36	1.58	1.73	1.32
亜鉛購入費用 (万円)	22,201.5	13,193.1	22,340.3	21,535.5
総エネルギー費用 (万円)	5,857.5	3,392.8	4,396.8	5,681.8
産業廃棄物費用 (万円)	621.6	485.7	299.7	603.0
水費用 (万円)	11.5	8.2 ※1	10.2	8.0
社外流出不良件数 (件/月)	1.3	1.0	0.8	1.0 (基準年度比-0.3件)

1) 二酸化炭素排出量は、電力使用量，都市ガス使用量，LPGガス使用量，ガソリン使用量，軽油使用量から算出された二酸化炭素排出量の合計としました。

電力使用量の排出係数は、中部電力ミライズ(株)殿の令和元年度の調整後排出係数：0.426 (kg-CO₂/kWh) とし

2) 産業廃棄物排出量は、前処理工程から排出される廃塩酸（特別管理産業廃棄物）と、水処理から排出される汚泥（産業廃棄物）等の削減を目標に設定しました。

3) 一般廃棄物は、排出量削減を目標としました

4) 水使用量は、地下水と水道水で、水処理をした後、河川に排出されます。

水使用量において、地下水は揚水量ではなく、排水メーターによる排水量より算出しています。

6) 環境配慮製品の出荷量については、太陽光発電設備の太陽光パネルの架台等や自社にてリサイクル（再めっき）した製品の、令和元年度の出荷量を基準として、目標を設定しました。

7) 有害化学物質の削減は、補修スプレーの使用本数と有害化学物質である キシレン、エチルベンゼン、トルエンの含有量から使用量を算出し、令和元年度の使用量を基準として、目標を設定しました。

※1 水使用量及び水費用において、基準年度は漏水による使用量の増加がありました。その為、基準年度を令和2年度の実績に変更しました。

10. 次年度の環境経営計画

2022年度 環境経営計画/実績評価・結果

環境管理責任者	作成日
小野 明	2022/9/17

環境目標 (基準年度/令和元年度)	取組事項/目標実績	部署	担当者	月度スケジュール/実績・評価												年度計	
				R4年						R5年							
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
電気使用量の削減 基準年比：-3%	教育	全社	小野														
	不要照明の消灯	全社	酒井														
	昼休み時間の消灯の徹底	全社	田中														
	蛍光灯の閉引き	全社	真野														
	不要換気扇の電源OFF	全社	酒井														
	エアコン温度管理の徹底	全社	田中														
	OA機器等の不使用時電源OFF	全社	田中														
	設備停止時の電源OFF	全社	西組課長														
	設備稼働管理の徹底	江南工場	真野社長														
	小牧工場	真野社長															
	無電極ランプ導入	江南工場	真野社長														
	工場照明LED化	江南工場	真野社長														
	電気使用量 (kWh)			目標値	73,983	76,242	78,045	76,426	83,528	85,063	71,916	79,342	69,920	64,921	57,621	62,405	879,412
				実績値													
				評価													
二酸化炭素排出量の削減	教育	全社	小野														
	車両の定期点検の励行	全社	富田課長														
	運行経路の適正化	全社	田保部長														
	エコドライブの励行	全社	田保部長														
	アイドリングストップの実施	全社	田保部長														
	空調温度の適正化	全社	小野														
	エコカーの導入	江南工場	真野社長														
	フォークリフト (LPG車) の導入	江南工場	真野社長														
	フォークリフト (電動車) の導入	江南工場	真野社長														
	亜鉛釜の温度管理の徹底	江南工場															
	バーナーの点検清掃の励行	江南工場															
	ダクトの点検・清掃	江南工場	西組課長														
	浸漬管の点検・清掃	江南工場															
	都市ガス使用量の把握	江南工場															
	都市ガス使用量 (m ³)			目標値	22,840	18,802	19,190	22,828	22,421	22,715	21,807	21,344	24,478	21,696	21,304	18,276	257,700
			実績値														
			評価														
液化石油ガス使用量 (kg) (LPGガス)			目標値	713.0	582.0	719.3	763.2	792.0	793.9	807.0	847.3	821.1	729.9	576.2	596.6	8,741.4	
			実績値														
			評価														
ガソリン使用量 (ℓ)			目標値	221.0	108.1	248.2	225.6	93.6	244.5	310.9	47.4	218.0	148.9	158.2	218.3	2,242.6	
			実績値														
軽油使用量 (ℓ)			目標値	1,327.3	1,091.9	1,371.4	1,220.1	1,138.7	1,129.2	1,184.5	442.3	1,703.5	1,507.7	1,252.0	949.6	14,318.1	
			実績値														
			評価														
廃棄物排出量の削減	教育	全社	小野														
	分別ボックス設置・ラベル貼付	全社	小野														
	廃棄物の分別の徹底	全社	小野														
	用紙の両面使用及び縮小印刷	全社	酒井														
	無駄の削減、資源化率の向上	全社	小野														
	集塵灰の再資源化	江南工場	真野社長														
	鉄くずの再資源化	江南工場	真野社長														
	フカシ槽による再資源化	江南工場	真野社長														
	重金属総量の低減	江南工場	真野社長														
	廃塩酸の削減	江南工場	中野														
	水処理汚泥の削減	江南工場	小野														
	一般廃棄物量 (t)			目標値	0.00	0.00	0.14	0.33	0.33	0.57	0.30	0.37	0.31	0.26	0.07	0.37	3.04
				実績値													
				評価													
	産業廃棄物量 (t)			目標値	4.86	4.86	4.16	5.70	5.89	0.00	6.22	6.31	6.31	6.36	5.99	6.23	62.89
			実績値														
産業廃棄物量 (t) 【特別管理】			目標値	0.00	12.02	36.14	21.67	21.42	11.96	12.08	7.16	22.50	12.32	11.88	10.68	179.83	
			実績値														
			評価														
水使用量の削減	手順作成・教育	全社	小野														
	節水ラベル貼付	全社	小野														
	手洗節水の徹底	全社	小野														
	散水節水の徹底	江南工場	真野社長														
	漏水管理	江南工場	小野														
	放流水の再利用	江南工場	西脇														
水使用量【上水】 (m ³)			目標値	0.0	53.4	0.0	60.1	0.0	73.7	0.0	66.0	0.0	68.9	0.0	74.7	396.8	
			実績値														
			評価														
水使用量【地下水】 (m ³)			目標値	1,408.2	1,015.4	1,024.6	938.5	797.2	1,025.6	664.0	850.5	1,171.5	979.3	855.4	979.5	11,709.6	
			実績値														
			評価														
環境配慮製品 出荷量 (t)	環境配慮製品の出荷量	本社・江南工場	真野														
	太陽光設備の提供	小牧工場	真野														
	太陽光設備用の製品の出荷量	本社・江南工場	真野														
			目標値	18.8	13.9	48.5	13.8	44.9	51.7	47.2	48.5	46.5	19.3	36.4	38.2	427.7	
			実績値														
			評価														
有害化学物質 の削減	キシレン、トルエンを含むスプレー等の使用量削減	めっき治具改善	江南工場	真野													
	めっき作業改善	本社・江南工場	西組														
	仕上げ作業	本社・江南工場	田島														
	治具への取付方法の見直し	本社・江南工場	佐々木														
	製品の吊下姿勢の見直し	本社・江南工場	佐々木														
	亜鉛槽投入・引上方法の改善	本社・江南工場	西組														
	環境対応型スプレーへの切替	本社・江南工場	真野														
化学物質を含む補修用スプレーの使用本数 (本)			目標値	466	1,280	1,048	1,280	931	698	815	931	1,117	1,211	466	1,164	11,407	
			実績値														
			評価														
社外流出不良の低減 1.0件/月			目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	12	
			実績値														
			評価														
環境管理責任者確認			小野														

11. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

当社に適用される環境関連法令は、適用一覧として取りまとめました。関係当局からの違反、環境に関する苦情や訴訟などの指摘は、ありませんでした。 遵守評価日：令和4年9月17日
 なお、下記に当社に適用される主要な環境法令を示します。 遵守評価者：小野 明

主要適用法令	適用内容概要	遵守評価 (※1)
水質汚濁防止法	排水処理施設設置届出，排出水の水質分析	○
工業用水法	許可井戸使用状況報告書・報告書内訳表の提出	○
PRTR法	第1種指定化学物質の排出量の提出	○
消防法（危険物関連）	貯蔵施設設置の届出	○
毒物劇物取締法	毒物・劇物の表示、盗難や紛失の措置	○
廃棄物処理法（※2）	マニフェスト交付状況報告書の提出， 委託契約書の締結，許可証の確認	○
騒音・振動規制法	特定施設設置の届出	○
大気汚染防止法	ばい煙発生施設設置の届出	-
浄化槽法	浄化槽法定検査，保守点検及び浄化槽の清掃実施	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○

注記 ※1：○は遵守，-は対象外

※2：廃棄物処理業者は、優良認定業者の為、1回/年の訪問は行いません。

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1) 代表者による全体の評価

(1) 環境経営目標の達成状況

- ・ 二酸化炭素総排出量については、目標を達成することが出来ました。
- ・ 総エネルギー使用量においては、LPGガス使用量及びガソリン使用量が目標を達成する事が出来ませんでした。
- ・ 一般廃棄物排出量が目標を達成する事が出来ませんでした。
- ・ 環境配慮製品が目標を達成する事が出来ませんでした。
- ・ 有害化学物質使用量が、目標を達成する事が出来ませんでした。
- ・ 費用面で見ると、総エネルギーと産業廃棄物においては、削減が出来ましたが、亜鉛購入費と水費用が目標を達成する事が出来ませんでした。
- ・ 社外流出不良件数においても、目標を達成する事が出来ました。
- ・ 受注が増えて売上高も増加（11.3%）しましたが、その分稼働時間も増加しています。その為、エネルギー使用量や廃棄物排出量の増加が懸念されます。
 新たな取組事項を検討し、使用量の削減に努めます。

(2) 環境経営計画の実施状況

- ・ 環境経営計画実施状況評価は、概ね良好です。

(3) 環境法令等の遵守状況

- ・ 法令遵守を確認しました

(4) 環境経営システムの運用状況

- ・ LPGガス使用量の削減に重点を置き、取り組みます。
- ・ ガソリン使用量の削減に重点を置き、取り組みます。
- ・ 一般廃棄物排出量の削減に重点を置き、取組みします。
- ・ 水使用量の削減に重点を置き、取組みします。
- ・ 環境配慮製品が増加出来る様、営業活動を行います。
- ・ 有害化学物質使用量の削減に重点を置き、取組みします。
- ・ 目標を達成している項目においても、継続して取り組み、削減を図ります。

2) 変更の必要性の有無と見直し・指示

代表者による見直しを令和4年9月17日に実施し、下表の結果でした。

	項目	変更の有無	見直し・指示
1	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	環境経営方針の見直しの必要はありません
2	環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	環境経営目標の変更はありません
3	環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	環境経営計画の変更はありません
4	環境経営システム	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	問題ありません
5	実施体制	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	問題ありません